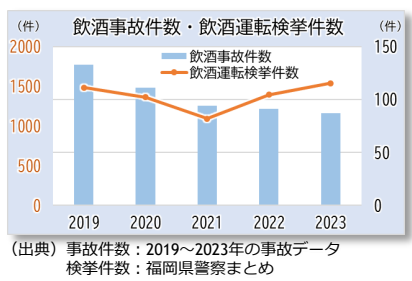


県内270人^{毎日}が飲酒運転?! ^{しているかも}

あなたの勇気ある一報が撲滅につながる!

また、夜間ばかりと思われがちな飲酒運転ですが、実は時間帯に関わらず、四六時中行われていきます。では一体、潜在的にどれくらいの数のドライバーが飲酒運転を行っているのか、統計データから探ってみましょう。



しまった!ではもう遅い。危険な飲酒運転は多くの一般市民が「飲んだら乗らない」を徹底する中、警察も取締りを強化し、検挙数も増加していますが、一部の無法者による飲酒運転が関係する事故は後を絶ちません。

福岡県警 統計から試算

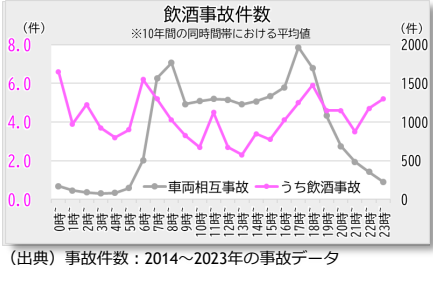
注意: 実測値ではなく推定値です!

右表に示す過去10年間に発生した車両相互事故の車両台数を飲酒別に集計したデータによれば、衝突された側の車両の飲酒の比率は約0.017%

	衝突した車両 (飲酒なし)	比率
衝突された車両	213,144 台	100%
飲酒あり	36 台	0.017%
飲酒なし	213,108 台	99.983%

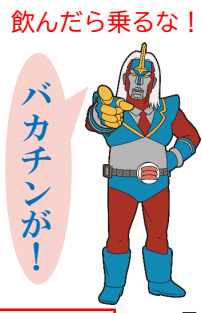
(出典) 事故件数: 2014~2023年の事故データ

※ 潜在的な飲酒車両の割合を把握するため、車両相互事故のうち、衝突された車両側の飲酒比率に着目し算出 (主要因となった車両が「飲酒あり」の場合を除いている)
※ 「調査不能」は飲酒なしに含め算定



福岡県の運転免許保有者約330万人のうち、約160万人が毎日運転し、そのうち270人(約0.017%)が飲酒運転をしているとの試算に

さらに、福岡県企画・地域振興部が行った県政モニターアンケート(平成30年度)によれば、運転免許保有者の運転頻度の質問に対し「毎日運転する」と回答した人の割合が、48.7%という結果となりました。これを基に試算すると、



飲んだら乗るな!
バカチンが!

(36/213,144)となり、交通事故は偶発的に起こるわけですから、この比率が潜在的な飲酒運転車両の台数を示すものとして考えると、走行車両約1万台のうち1.7台(0.017%)が飲酒運転車両ということになります。

- 通報のポイント
- いつ?
 - どこで?
 - 車のナンバーや特徴
 - どのような状況で?

- 飲酒運転かも?
- 酔っ払いらしき者が運転席に乗り込んだ
 - 青信号なのになかなか発車しない
 - 蛇行運転している
 - 運転席で酒を飲みながら運転している

このように、飲酒運転は皆さんの身近で行われているかも。もしもこんな車を発見したら、必ず警察に通報(110番)を!

飲酒運転によって失われずに済む命、人生があります。飲酒運転ゼロを心から願う人々のため、県民一丸となって「飲んだら乗るな」を徹底し、飲酒運転撲滅の気運を高めていきましょう!



あなたの勇気あるその一報が、飲酒運転の撲滅につながります。バカチンも応援してくれますよ!



見かけたら迷わず**通報**を!
皆の力で**飲酒運転撲滅!**
令和2年6月19日の条例改正により、**全ての県民に**、飲酒運転を見かける等した場合の、110番通報等が義務化されました。

統計の雑学
こんなもの知っ
統計
とうけい?
号外
令和6年5月31日

発行 福岡県警察本部交通企画課
飲んだら乗るな!
乗るなら飲むな!

飲酒運転通報訓練 動画 QRコード

福岡県警交通企画課 公式 X QRコード

交通企画課 公式Twitter